

II 色彩の基礎知識

1 まちを彩る色彩

私たちのまちは、海や川、ため池などの水面や水辺、南部丘陵の緑、市街地内の道路や公園、建築物など様々な要素から構成され、それらの豊かな色彩が調和して心地よい景観を生み出しています。周辺から突出した色彩や違和感のある色彩が混じっていると色彩の調和が保たれなくなります。

色彩が景観に与える影響は大きいので、建築物を新築するときや工作物、屋外広告物を設置するときには一定のルールに沿って周辺と調和し、時には引き立たせるような色彩を考える必要があります。

堺を彩るさまざまな色彩



躍動感ある臨海部の色彩



歴史ある住宅地の色彩



古墳と一体となった色彩



開放的な水辺の色彩



歴史的な建築物の色彩



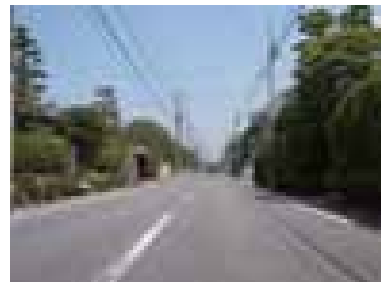
歴史ある農村集落の色彩



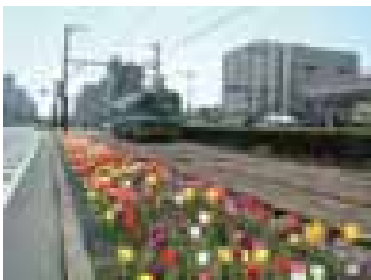
風格とにぎわいのある都心の色彩



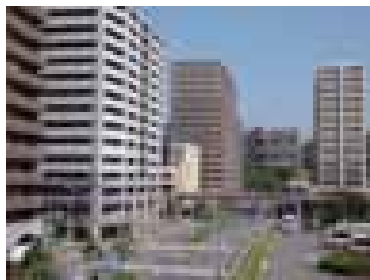
歴史ある街道の色彩



緑豊かな住宅地の色彩



阪堺線沿いの色彩



泉北ニュータウンの色彩



素朴な田園景観の色彩

2 色彩の表し方

本書では、色彩をマンセル表色系で表しています。マンセル表色系では、色彩を色相、明度、彩度の3つの属性の記号と数値を組み合わせたマンセル値で表します。

色相 (しきそう)

色あいを表します。マンセル表色系ではR(赤)、Y(黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)とその中間のYR(黄赤)、GY(黄緑)、BG(青緑)、PB(青紫)、RP(赤紫)を加えた10の基本色と0から10までの数値を組み合わせて表示します。

明度 (めいど)

明るさを表します。マンセル表色系では0から10までの数値で表示します。数値が大きいほど明るく、小さいほど暗い色彩になります。

彩度 (さいど)

鮮やかさを表します。マンセル表色系では色相や明度に応じて、0から最大14までの数値で表示します。数値が大きいほど鮮やかな、小さいほどくすんだ色彩になります。白、黒、グレーなどの無彩色の彩度は0、また色相によって最も高い彩度の数値は異なります。

マンセル値

マンセル表色系による色相、明度、彩度の記号と数値を組み合わせて表記した値です。

